

## 「第5回 貝原俊民美しい兵庫づくり賞」の受賞について

兵庫県災害医療センターは、阪神・淡路大震災の教訓をもとに2003年に設立され、「救命救急医療」と「災害医療」の2本柱の下、県内唯一の「高度救命救急センター」・「基幹災害拠点病院」として県民の救急や災害発生時の命を救うリーダー的な役割を担ってきました。

このことが評価され、この度、「第5回 貝原俊民美しい兵庫づくり賞」を受賞しました。

当センターに与えられた重責を果たすため、今後も職員一同、なお一層努力してまいります。

—まさかの時に誰もが安心と満足が得られ、  
信頼していただける救命救急センターを目指して—

センター長 中山 伸一

貝原俊民美しい兵庫づくり賞

兵庫県災害医療センター様

貴団体は阪神・淡路大震災の経験と教訓を  
ふまえ自治体初の災害医療センター  
として平成十五年に設立され県内唯一の  
「高度救命救急センター」「基幹災害拠点病院」  
として県民の救急や災害の救命を行う  
リーダー的な役割を担うとともに国内外の  
災害医療やDMAT隊員等の人材養成に  
積極的に取り組まれた功績を讃え今後も  
学びや知見を活かしその役割と使命を  
果たされるよう希望してこの賞を贈ります

令和二年十一月二十六日

一般財団法人 地域政策研究会

理事長 貝原 俊也





発表・表彰式は11月26日（木）ホテルオークラ神戸にて開催されました。



中山伸一センター長と山名比呂美看護部長  
 後列左 五百旗頭真 選考委員長（ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長）  
 右 貝原俊也 地域政策研究会理事長（主催者）

## 貝原俊民美しい兵庫づくり賞

故貝原俊民氏は知事として、また退任後もライフワークとして以下のことに取り組んできた。

- ① 成長から成熟へ転換する時代背景のもと、県民の自由な発想による県民運動を基軸に「こころ豊かな兵庫」をめざした県政を推進し、生活創造を基調とする「美しい兵庫」、「自由で調和ある自律社会」の実現。
- ② 阪神・淡路大震災からの「創造的復興」を推進し、震災の経験と教訓を生かし日頃から減災の取り組みを進め、災害後の復旧復興の道筋を準備する「災害文化」をひろめ防災減災社会の構築。
- ③ 地方自治の第一人者として活躍し、官主導中央集権体制から民自律地方分権体制へ構造改革を先導するとともに、地域課題の調査研究・提言や若手研究者への支援など生涯、地方自治の発展振興。

こうした氏の志を受け継ぎ、活躍し、地域社会に貢献することが期待される個人や団体を対象に賞を贈ります。

表彰は、県、市町、関係団体、一般公募推薦の方法により募集し、選考委員会で選定した上、理事長が決定します。

### 選考委員

委員長	五百旗頭 真	(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長
委員	井戸 敏三	兵庫県知事
委員	谷口 芳紀	兵庫県市長会会長
委員	庵途 典章	兵庫県町村会会長
委員	家次 恒	兵庫県商工会議所連合会会頭
委員	志智 宣夫	兵庫県商工会連合会会長
委員	福永 明	日本労働組合総連合会兵庫県連合会会長
委員	高梨 柳太郎	株式会社神戸新聞社代表取締役社長